

家庭教育支援者地区別研修会

令和7年10月10日(金)伊達ふれあいセンターにおいて、県北域内の家庭教育支援者参加のもと標記の研修会を実施しました。今回は子どもを尊重した親としてのかかわり方を学び、地域の家庭教育支援者の実践力の向上や新たな支援者の育成を図り、地域の家庭教育力の向上を目指すため実施しました。



「子どもを尊重した、親のかかわりとは？」

講師：親子カウンセラー・言葉がけコーチ 島谷 留美 氏

① まずは子どもの話を聞く

保護者がアドバイスを与えるのではなく「は・ふ・へ・ほ・そ」の相槌を使って、**子どもが自分で答えを見つけるのを待つ**ことが重要です。

- 子 もう私部活やめる!
- ふーん。 × なんてそんなこと言うの!
- 子 あの監督許せない!私ばかり怒られた!
- ほー。 × 監督だって考えていると思うよ
- 子 試合に負けたのを私のせいって言われた。
- へー。 × 監督にちゃんと言ったら?
- 子 大事な場面でミスしてしまったけど...
- はあ。 × ちゃんと謝ったら?
- 子 確かに私が悪かった。明日、朝練はやめに行こう。
- そう。

③ 日常の当たり前をほめる

「すごいね」「えらいね」は評価する人とされる人の上下関係ができてしまいます。何気ない日常を切り取って**事実+自身の気持ち**でほめましょう!

仕事で帰りが遅くなっても、元気に帰って来てくれて嬉しい!

洗濯物がたたんであると負担が減るよ。ありがとう。



義母と明るく接してくれて、感謝している。

② 叱る時は事実・私が受ける影響・わたしメッセージで!

叱る時には、事実を見ることが大切です。「いつも」「また」「ゲームばかりして」という言葉は、勝手に相手を判断している「レッテル用語」です。事実でないことをベースとしたレッテル用語は子どものやる気を失わせてしまいます。

学校に水筒を忘れると、先生にカギを開けてもらえるようお願いすることになるから、先生に申し訳ない気持ちになるんだよ。



- 事実
 - ・ ソファーに寝転がっている
 - ・ 水筒を忘れた
- × 事実が分からない
 - ・ ソファーでだらだらしている
 - ・ また水筒を忘れた

事実は場面を写真で切り取った時にわかることです。



- 私が受ける影響
 - ・ 担任の先生に連絡しないといけない
 - ・ カギが生えたら洗うのが大変

- わたしメッセージ (私は) 心配している (私は) 困っている
- × あなたメッセージ (あなた) 早くしなよ (あなた) 明日の準備した?

【参加者の声】

- とても役に立つ研修だったので、学校でも講演していただき、校長先生や先生方にぜひ聞いて欲しいと思いました。
- 子どもに対して怒ってばかりでどうしたらいいか悩んでいたのが、このような子育てに関する講演はありがたかった。

子育て中の保護者の70~80%が子育てに悩みや不安を持っており、問題を一人で抱えて孤立している保護者もいるのが現状です。地域全体で家庭教育を支えていく必要があります。

県北教育事務所では、これからも家庭教育支援者の皆様と一緒に、子育てに不安や悩みを抱える保護者を支えていきたいと思っております。

家庭教育に関するお問い合わせは
 県北教育事務所 総務社会教育課 伊藤まで
 電話 024-521-2814
 E-mail itou_emi_02@pref.fukushima.lg.jp